

俳句

6月18日(土)

佐川町 乗台寺

合田 青幹

気配りの煙草盆ある端居かな

飛石の果つるところや尊池

吉本 伸秋

十葉や小暗く続く遍路道

大石路の回廊暗し梅雨の冷え

小笠原さちを

葉桜の町に面影尋めて来し

端居して地震の記憶のよみがえる

7月16日(土)

当季雑詠

吉本 伸秋

風鈴の音色は古し風新た

子かまきり透き通る鎌振りかざし

小笠原さちを

一軸は寅彦一句夏座敷

風鎮の重み稲妻一句かな



人と草原と夜空と

西村雅人

人と人が手をつなぎ

ふたりならんで

草原に立ち

夜空を見あげている

風が

ふたりの背中をかすめ

人は草原とひとつになり

無数の星とひとつになる

探し求めていたふるさと

ここかもしれない

ふいに

ながれ星がひとつ

短歌

曲亭馬琴追想

今日もまた徒勞なりしか帰り支度、ひよいと見つけぬ捜しし馬琴

榊原 忠彦

熟こもる授業を受けし『八犬伝』、『芳流閣の決闘』『嫁とのシーン』は名画にもなる

(両方とも教科書の挿絵として掲載されていた。特に後者は『新潮古典文学アルバム23』の表紙、鍋木清方筆の色彩画が惹きつける)

行灯の傍目ひたる馬琴の前で嫁のお路(完結)に向け懸命に書く

(馬琴75歳で完全失明、以後お路の口述筆記、代筆等で大成させる)

最後のとりで

山本 晶子

選挙結果黙して見入る夫と吾最後のとりで国民投票

3分の2の意味知らぬ人83パーセントなりと新聞に載る

生活に追われ新聞読まぬ人あらん吾も時に新聞溜める

八月

叶岡 淑子

国連で核廃絶を訴えんと高校生ら長崎を発つ

語りべの被爆体験を絵で遺す中学生の取り組み熱し

「8・15平和のつどい」に老いわれら詩を朗読す思いをこめて

初月農園だより

オーガニック

島本 聡

カナディアンロックリーの拠点都市バンフのスーパーである。メキシコから運ばれてくる山積みされたWatermelon



のそばに、しおれた小さなキャベツがおいてある。値段をみると4.2倍もある日本の2倍もする高値。よくみるとその横にorganicと小さな文字が書かれている。この国でもオーガニック有機無農薬栽培が重要視されているのだ。オーガニックとは？化学肥料や農薬に頼らずに堆肥や生物などを利用して栽培する方法をいう。健康で安全な農作物の栽培方法でさらに「温暖化を食い止める」「自然の生き物を大切にしよう」という発想。有機農業推進活動を行っ

ているIFOAM(国際有機農業運動連盟)では「生態系」「健康」「公正」「配慮」の4項目を掲げてルールをつくっている。(2000年代になって)私の幼少のころは、肥料はすべて糞II有機であり、畑の片隅には必ず肥溜めがあり、それにはまり込まないよう注意をうけたものである。それから数年のうちに、肥料は手軽で量産できる化成肥料に、また殺虫剤として、パラチオン、やDDT(使用禁止薬物)を大量散布する農法が主となり、手間のかかる非効率な有機農法をする農家は、ごく少数になってしまった。また消費者も、劇薬の農薬をたっぷり吸った形の美しい野菜を好んで食べたのである。虫を殺す農薬が、人に悪影響をおよぼさないはずはない。賢い？農家の人々は、虫食いの形の悪いいびつな野菜は自家用に、殺虫剤を十分かけた

虫の食跡がない美しい野菜は出荷にと、栽培方法をかえるのである。数年前の初秋のこと、押し寄せるモンシロチョウを網で捕殺していたころ、中国の四川省に旅した知人から、広大なキャベツ畑に、草もなく、1羽のチョウをいかなかったとの報告をうけた。賢い高退協の皆様、美しい中国野菜を買うのは控え、虫食いだらけの変形したような野菜を好んで食べましょう。そして永く永く年金をもらい、今の農業政策の効率主義、早死に奨励政策には、粘り強く抵抗しようではありませんか。



会費納入のお願い

今年度の高退協の会費の納入がまだの方は、早急をお願いします。